
◇◆ほっかいどう防災教育協働ネットワーク◆◇
～メールマガジン第94号(令和4年12月28日発行)～

◇◇◇◇◇◇◇◇◆ INDEX ◆◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

【1】トピックス

- 北海道防災総合訓練（厳冬期）を実施しました！

- 「暴風雪から身を守るために」
三角山放送局「安全安心わが街わが家」12月20日（火）OA内容

- 各種メディア・SNSを用いた情報発信について

【2】編集後記

【1】トピックス

- 北海道防災総合訓練（厳冬期）を実施しました！

前回のメルマガで予告しておりました「北海道防災総合訓練（厳冬期）」を、滝川市にて12月17日（土）～18日（日）早朝にかけて実施しました。

この訓練は、厳冬期における避難所運営の課題把握や、各種防災資機材の有効性の確認をすることで、地域の防災力強化を図ることが目的です。

訓練日は、日本列島を大寒波が襲った週でもあり、朝から大雪が降り、最高気温すらもマイナスな中、“リアルガチ厳冬期訓練”となりました。

前日16日から準備のため滝川市入りした筆者ですが、避難所の電力をまかなう電気自動車を設置するはずの駐車場が雪で覆われ、早々に設置場所の変更を余儀なくされ、外は言うまでもなくとんでもなく寒い！

滝川市に向かう道中もホワイトアウト。神様のいたずらか試練なのか、まさに真冬の災害に備えた訓練を実施することとなりました。

今回の訓練で想定した災害は、「厳冬期（いわゆる真冬の寒さが一番厳しい時期）の大規模地震災害による停電・断水」です。避難所運営も、暖かい時期と厳冬期では勝手が異なります。真冬…それもマイナスの気温の中での訓練でしたから、低体温症になることを防ぐため、まずは避難者を避難所である高校の体育館（建物内）へ避難させるところからスタートしました。

そして避難所設置訓練で避難者自らが避難スペースにて段ボールベッドやテントを設置、有識者による講話、自衛隊による炊き出しのカレーを食べてからは……ここからが本気です。体育館の暖房を

止め、窓を開け放ち、室内温度を停電想定の実感的な温度に近づけ、希望者のみ宿泊訓練も実施しました。開け放った後の体育館の最低気温は4℃、滝川市の備蓄の灯油ストーブとダクトヒーターでなんとか暖を取りましたが、それでも体育館内の最高気温は12℃くらいまでにしかなりませんでした。ちなみに外気温は-7.5℃（ひえ…）。人は10℃を下回ると寒さで寝られなくなるそうです。筆者も宿泊しましたが、真冬の避難の厳しさを体感して参りました。

訓練の一環としまして、一時避難所として設置した道の駅たきかわでは、車中泊訓練も行いました。そのほか、各企業による防災グッズや資機材の展示ブースも展開しました。普段なかなか見られないコンテナトイレやコンテナハウス、サウナバス、電気自動車の展示のほか、キッチンバスによる防災食体験コーナーも設置し、非常食を材料にしたとは思えないおしゃれで暖かなイタリアンのコース料理をいただくことができました。「ついワインがほしくなる…」と皆さん口々におっしゃっていました。

ちなみに、この日の就寝は大きく2パターンに分けて、避難所である高校体育館では段ボールベッドで就寝、一時避難所では車中泊。どちらも一長一短。段ボールベッドが合うという方もいれば、車中泊が快適だった、その逆も然りです。非常食の他、寝具の準備も各々必要と感じました。

訓練の様子は近日中に当課 Facebook に掲載しますので、ぜひご覧いただき、真冬の災害について考えるきっかけにしてくださいね。

■ 「暴風雪から身を守るために」 三角山放送局「安全安心わが街わが家」11月8日（火）OA内容

以前のメルマガでもお知らせしましたが、三角山放送局のラジオ番組「安全安心わが街わが家」に北海道危機対策課を含む7機関が毎週1回ゲスト出演させていただき、毎回異なるテーマで防災減災情報のお話をさせていただいております。

先日12月20日（火）の放送では「暴風雪から身を守るために」をテーマにお話しましたので、一部抜粋してお届けします。

毎年、冬の季節には暴風雪による災害や除雪作業中の事故などが発生しています。こうした雪による被害から身を守るために、わたしたちはどのような対策を行うべきなのか。

札幌管区气象台によると、12月～2月までの降雪量はほぼ平年並みの見込みとのことですが、12月に入り、大雪となった地域もありますし、今年2月には、札幌圏で大雪が発生したことも記憶に新しいですね。本格的な冬になってまいりましたので、最新の気象情報に注意してもらいたいと思います。

除雪中に、屋根やはしごからの転落や屋根からの落雪により死亡事故となっているケースが増えていきます。雪下ろしに慣れている方でも、油断せず、しっかり準備して作業していただきたいです。事故を防ぐ対策としては、「除雪は1人ではなく複数人で行うこと」「命綱やヘルメットをつけること」「はしごをしっかりと固定すること」「万一の際に、助けを呼ぶための携帯電話やホイッスルを身につけること」が大切です。

車での外出の際は、吹雪や吹きだまりによる立ち往生の備え、防寒着やスコップ、牽引ロープ等を用意することや、燃料を充分に残しておくことも重要です。

また、車内では、排気ガスによる一酸化炭素中毒と低体温症に充分注意が必要です。エンジンを停止させ、できるだけ防寒着や毛布などで体温の低下を防ぎましょう。それでも寒くてエンジンをかけるときは、排気管が雪で塞がらないように、こまめに除雪し、車内に一酸化炭素が入らないようにしましょう。

昨年の12月には、暴風雪による影響で十勝管内で大規模な停電が発生しました。停電の際に、車で

暖をとられる方もいらっしゃると思いますので、その際にも一酸化炭素中毒には充分注意していただきたいです。

北海道では、道民の皆様や観光客の皆様に向けて、道路交通状況や停電状況等を発信する各機関のウェブサイトや SNS を取りまとめた総合リンク集を作成し、「冬期間のお役立ちリンク集」として北海道危機対策課ホームページに掲載しておりますので、活用いただければと思います。

まだまだ冬は続きますので、雪の被害から身を守るために、充分注意していただきたいと思います。

■ 各種メディア・SNS を用いた情報発信について

危機対策課では、各種メディア・SNS にて、防災に関する情報を発信していますので、ぜひご覧ください。

● 危機対策課のホームページ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/saigai-bousai.html>

● ポータルサイト「ほっかいどうの防災教育」

<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp>

● YouTube「北海道総務部危機対策局危機対策課チャンネル」

<http://www.youtube.com/channel/UCH8en7nPSfnsNJ1FyOK0lqg>

● フェイスブック「ほっかいどうの防災教育」

<https://www.facebook.com/hokkaido.bousaikyouiku>

● Twitter「北海道防災情報」

http://mobile.twitter.com/hokkaido_bosai2

【2】編集後記

今年は冬が来るのだろうか～まあ来るんだろうし寒いけど、いまいち雪、降らなくない？なんて油断していたら、すっかり雪景色になりましたね。皆様いかがお過ごしでしょうか。

生まれも育ちも北海道の筆者、何を隠そう豪雪地帯にしか住んだことがありません。せっかく頑張って雪かきしたのに、数時間後に外に出ると、雪がすっかり復元されていたときのあの絶望感…共感いただける方はいらっしゃいますでしょうか。年末は天気がやや荒れるようですので、雪かきや雪下ろしで怪我をしないように、お体をいたわって暖かくお過ごし下さい。

トピックス1でもお話ししましたが、この度の厳冬期訓練で避難所に宿泊しました。冬の災害の注意喚起をする立場ですが、正直なめていました。寝てしまえば体から熱を発する子ども体温(?)の筆者なので、寝ている間はそこまでの寒さは感じなかったものの、それは備蓄やダクトヒーター、毛布があつてこそ。それが十分でない状態の避難所で過ごすことを考えるとぞっとしました。行政は、もちろん災害に備えて様々な備蓄はしますが、全員の希望に添った、かゆいところに手が届く備蓄を整えるのは正直難しいでしょう。自分が必要なものは自分で普段から用意しておかなければいけないなど、身をもって体験しました。

クリスマスも終わり、いよいよ年末。友人や家族と楽しく過ごされる方、あわただしく過ごされる方、のんびり過ごされる方、皆様いろんな過ごし方をされると思いますが、どうか年末年始に災害が起きないことを切に願って、今回、今年最後のメールマガジンは終了といたします。最後までお読みいただき、

ありがとうございました。

では皆様よいお年をお迎えくださいませ。

(…あれ？いつもより真面目っぽい編集後記になってしまいました(？))

=====
発行：ほっかいどう防災教育協働ネットワーク事務局

(北海道総務部危機対策局危機対策課)

- ・最新情報発信中！フェイスブック「ほっかいどうの防災教育」

<https://www.facebook.com/hokkaido.bousaikyouiku>

- ・ポータルサイト「ほっかいどうの防災教育」

<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp>
=====